

## 山北町第6次総合計画基本構想（素案）への意見・質問に対する回答及び対応（案）

## 第1編 総論

※本資料記載の目次及びページは第2回審議会の資料7に基づくものです。

## 第1章 総合計画の策定

## 2 計画策定の趣旨

No.	ページ	意見・質問	回答・対応（案）
1	P1	「町民力」「地域力」の説明を注意書きして欲しい。	ご指摘のとおり追記します。
2	P1	アジェンダ、SDGsなどの用語に日本語の注意書きを付記してもらいたい（行動計画・持続可能な開発目標など）。	他の用語にも影響があるため、今後統一的な表現を検討します。

## 3 計画の構成

3	P3	基本計画（分野別計画）の基の実施計画は作成しないのか。	計画体系のとおり、基本計画と実施計画は一体のものとして作成します。
---	----	-----------------------------	-----------------------------------

## 第2章 町民意識とまちづくりの課題

4	P4～8	構成とタイトルを次のようにしてはどうか。（下線が変更箇所） 第2章 <u>今後のまちづくりの考え方</u> 1 <u>現在のまちの現状</u> ※課題の前に現状を説明することで分かりやすくなると思う。 2 まちづくりの課題 3 <u>町民アンケート結果の概要</u> ※町民意識（アンケート結果）は現状と課題の後でよいと思う。	ご意見を踏まえ、全体構成等について修正します。
---	------	---	-------------------------

## 1 町民アンケート結果の概要

5	P4～6	「見出し」「Q」「結果の図表」という構成となっており、町民の方が読み取れるか不安。簡単な解説が必要と考える。	ご指摘のとおり修正します。
6	P4～6	アンケート毎に説明文があった方が分かりやすいと思う。また、町の姿勢を前面にしっかり表現して、その理由として「町民アンケート」の概要を示した方が適切と考える。	ご指摘のとおり修正します。

No.	ページ	意見・質問	回答・対応(案)
7	P4~6	町民アンケート以外のアンケート内容は掲載しないのか。各種団体や移住・定住者へのアンケート、中学生ワークショップの調査結果概要も記載したほうが良いと思う。	ご指摘のとおり追加して掲載します。

## 2 まちづくりの課題

8	P7~8	内容がどこの自治体でも該当するような一般論に終始しており、「山北町のまちづくりの課題」がわかるよう修正する必要がある。	ご指摘のとおり、山北町の課題について掲載します。
		国際的に見れば目指すべき課題と言えると思うが、もう少し山北らしさを滲ませる内容が入っても良いのではないのか。	
		一般的な内容と承知しているが、高齢化の進む中、果たして山北町に当てはまるのか疑問。山北町におけるまちづくりの課題について何か一つ具体的なものを入れても良いと考える。	
		山北町特有の課題についての記載が必要である。	
9	P7~8	まちづくりの課題の6項目は、一般的な課題のようであるが、山北町の課題とは何か。町民アンケートからは、「医療、交通、買い物」が重要な課題に挙げられると思うがどうか。	アンケートで挙げられた課題は、町としても重要な課題と認識しており、新たな総合計画の中で課題として位置付け、基本計画(分野別計画)さらには重点プロジェクトにおいて取り組んでいく内容と考えています。
10	P7~8	山北町は住居が広く点在しているので、インフラ整備や医療、商業施設などと住居を地域ごとにコンパクトにまとめるなどの「コンパクトシティ」という考えはないのか。	山北町は町域が広大であり、各地域に集落も点在していることから、コンパクトシティには馴染まないと考えています。
11	P7~8	<p>タイトルを次のようにしてはどうか。(下線が変更箇所) また、町の現状を加えた方が理解しやすいと思う。</p> <p>(2) <u>デジタル技術の変革(DX)</u>と<u>環境に優しい技術の開発(GX)</u>  ※文章の中でデジタルトランスフォーメーションとグリーントランスフォーメーションを表現するとよい。</p> <p>(3) <u>現在の社会状況と山北町</u></p> <p>(5) <u>町民意識</u>や生活の多様化  ※意識の前に何の意識かを加えたほうが分かりやすいと思う。</p> <p>(6) <u>SDGsへの取り組み</u>  ※タイトルが大きすぎるので、身近なタイトルにした方が入っていける。</p>	<p>ご意見を踏まえ、次のとおり修正します。</p> <p>(2) デジタル技術による変革(DX)と環境に優しい技術による変革(GX)</p> <p>(3) 国際社会の変化と影響</p> <p>(5) 町民意識や生活の多様化</p> <p>(6) SDGsへの取り組み</p>

12	P7	(2)のDXとGXについて、日本語の注意書きを付記してもらいたい(デジタル改革、緑転=クリーンエネルギーへの転換)	他の用語にも影響があるため、今後統一的な表現を検討します。
13	P8	(4)について、富士山の噴火についても、町政と町民との間で共通認識を図っておいたほうが良いと思う。 (下線追加) ~南海トラフ地震への対応策とともに、富士山の噴火についても見直されていることから噴火時の行動のとり方、対応策も喫緊の課題~	ご意見を踏まえ、次のとおり修正します。  ~山北町においては、南海トラフ地震などの地震対策とともに、富士山噴火への対策も喫緊の課題~

## 第2編 基本構想

14	—	「第2章 将来像」「第3章 将来フレームと土地利用」「第4章 重点プロジェクト」「第5章 分野別構想」各章の位置づけ、関連が分からない。	まず将来像としてありたい姿を描き、将来人口や土地利用を展望します。その姿を目指した重点的な取り組みとなるプロジェクトを定めます。分野別構想は行政が行うすべての分野の取り組みについてその方針を示します。これらは、具体的な事業ではなく方向性を示すものであるため、基本構想に位置付けるものです。
----	---	--	--

## 第1章 基本理念

### ~まちづくりのキーワード~

15	P9	「柔軟性」「機動性」「持続可能性」は、施策展開の基本的視点であり、「基本理念」という表現が適切かどうか。上記3点が、施策展開の基本的視点であるならば、章立ては、2章の将来像と順番を入れ替えた方がよいのではないか。	ご指摘のとおり「将来像」と章立てを入れ替え、名称を「計画の視点~まちづくりのキーワード~」に修正します。
16	P9	「機動性」「持続可能性」は理解できるが、「柔軟性」は何を持って掲げているのか。「柔軟性」は、何に対しても柔軟に対応することと思われるが、逆に目標に対してブレても良いというような、定まり感がないような気がするかどうか。	計画に位置付けられたことしか行わないといったことがないよう、また計画に位置付けられている内容より、良い取り組みがあるのであれば柔軟に採用したり、町単独ではなく民間事業者や近隣自治体と協力連携するといった柔軟性を持つことが必要といった考えから掲げたキーワードとなります。
17	P9	第5次総合計画では「自立」「活力」「協働」であり、本素案が「柔軟性」「機動性」「持続可能性」となる場合、抽象的な表現で山北町の独自性が伝わらない。その為、今後山北町が力を入れて取り組むと決意した、重点プロジェクトからキーワードを抽出するべきだと思う。例えば、「オンリーワン構築」「未来への投資」「守ると活かす」など、「山北町らしい」キーワードが必要と考える。	ご意見として賜り、今後の「重点プロジェクト」「分野別構想」「基本計画(分野別計画)」を検討していく中で、キーワードについて検討します。

No.	ページ	意見・質問	回答・対応(案)
18	P9	<p>「柔軟性」「機動性」「持続可能性」を、「人づくり」「物づくり」「環境づくり」としてはどうか。</p> <p>1 人づくり 目まぐるしく社会が変化する状況の中で、一人ひとりが心豊かで健全な心身を育み、情報化、グローバル化に応えられる人材育成などに取り組むとともに教育環境の整備を図ります。</p> <p>2 物づくり 人々の暮らしの中で必要されるさまざまな物づくりを通して、生活がより豊かになること、心身がより豊かになることを目指すとともに、伝統になる物づくり、地域貢献できる物づくりに取り組みます。</p> <p>3 環境づくり 社会の環境変化に柔軟に対応しながら、子育て、健康、公園、スポーツ広場などの緑豊かな環境づくりに取り組みます。</p>	<p>ご意見として賜り、今後の「重点プロジェクト」「分野別構想」「基本計画(分野別計画)」を検討していく中で、キーワードについて検討します。</p>
19	P9	<p>3つの「～性」は多少抽象的になることは仕方がないが、それぞれの解説文をもう少しわかりやすくする必要がある。</p>	<p>ご意見として賜り、決定したキーワードについて分かりやすい説明となるよう検討します。</p>

### ～SDGsの推進～

20	P10	<p>「～SDGsの推進～」は、計画書の最終の参考資料として位置づけた方が良いと思う。</p>	<p>SDGsは国が推進しているものであるため、参考資料扱いにはできませんが、ご意見を踏まえ、掲載場所について検討します。</p>
		<p>「～SDGsの推進～」は、「2章 将来像」と順番を入れ替える必要がある。SDGsについては一番後ろでよい。</p>	

### 第2章 将来像

21	P11	<p>「みんなでつくるみんなのやまきた～持続可能なまちづくり～」の表現は、町の将来像というより、どちらかという「手法」を表現しているように思える。例えば、副題は「持続可能なまちづくり」を「持続可能なまちの実現」とした方がよい。</p> <p>また、2つのパーツで構成する案もあるのではないか。</p> <p>例えば、表題 基本目標 ← 「将来像」に代わる表題</p>	<p>ご意見を踏まえ、次のとおり修正します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・将来像「みんなでつくる持続可能で元気なまち 山北」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・みんなでつくる 山北</li> <li>・持続可能なまち 山北</li> <li>・元気なまち 山北</li> </ul> </li> <li>・基本理念 山北町民憲章</li> </ul>
----	-----	---	--

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本理念「みんなでつくるみんなのやまきた～持続可能なまちづくり」</li> <li>・将来像 (どのようなまちを目指すのか、例えば、11 ページに書かれている「持続可能なまちの姿」を2、3ピックアップしてわかりやすい言葉で表現。) ○○なまち 山北 ○□なまち 山北</li> </ul>	
		「将来像」を「みんなでつくる活気あふれるまち やまきた～住み続けられるまちづくり～」としてはどうか。	
22	P11	タイトルの「将来像」を「将来のまちづくり構想」としてはどうか。 また、『人口減少や大規模災害への危機感が強く、SDG s ではゴール11「住み続けられるまちづくりを」を重点にすべきとの意見が多くありました。』の下線部を削除してはどうか。	「将来像」は、将来的に山北町がやりたい姿を定めるものとなります。 また、「住み続けられるまちづくりを」の表現はSDG s のゴールの名称となるため、「SDG s のゴール11」に修正します。
23	P11	「将来像」について、「みんなでつくるみんなのやまきた」とあるが、下段に「みんなでつくる活気あふれるまち やまきた」ともある。上段と下段の整合性はあるのか。	第2回審議会では「将来像」として2案お示ししたもので、最終的には1案となります。

### 第3章 将来フレームと土地利用

24	P12～14	「第2章 将来像」と「第3章 将来フレームと土地利用」は、2つの章を併せて「まちづくりと将来フレーム」とし、 その中で、 ■1 まちの特徴 ■2 まちづくりの目標 ■3 将来フレーム の整理が分かりやすいと思う。	ご意見を踏まえ、全体構成等について修正します。
25	P12～14	第3章は将来フレームと土地利用構想だけで整理するのか。将来フレームの中には土地利用構想の他にも、交通、緑地、防災、観光など多岐にわたる項目があるが、記載しないのか。	ご指摘のとおり将来フレームには様々なフレームがありますが、交通や観光などは個別計画レベルでフレームを設定することが多いため、総合計画では人口と土地利用について記載することとします。なお、表題は「将来人口フレーム」に修正します。

## 1 将来フレーム

No.	ページ	意見・質問	回答・対応（案）
26	P12	国立社会保障・人口問題研究所の2020年を100とした場合の人口推計について、市町村別はまだ出ていないため、それを待ちつつ町としてどのような目標を立てるか、過去の経緯を教えてください。	国立社会保障・人口問題研究所から、2020年の国勢調査に基づいた最新の市町村別将来人口推計の結果は公表されておりませんので、前回の推計方法に最新の2020年国勢調査のデータを反映させる方法により推計を行いました。 市町村別の推計結果は、本年12月に公表が予定されていますが、結果が大きく変わることはほぼ無く、改めて推計し直すことも通常ありません。
27	P12	「将来フレーム」の将来人口の考え方は、町として活力を維持していくべき「目指すべき目標」なのか、それとも社人研の推計通りの「人口推計」なのか。	町としては、各種施策の実施により、良好な生活環境やまちの活力を維持していくための人口規模を目標として設定したいと考えています。

## 2 土地利用構想

28	P14	ここに土地利用構想を項目立てする意義を教えてください。	総合計画は、基本構想の法的な策定義務が無くなったため、内容も地方自治体独自の判断に委ねられており決まりはありませんが、山北町では、基本構想に即して土地利用計画を策定することとしており、令和7年度から始まる新たな土地利用計画を令和5～6年度の2か年で策定するため、土地利用の基本的な考え方を取りまとめ、基本構想の中の土地利用構想に反映させます。
29	P14	町全体の土地利用として、例えば地域ごとに観光・商業・農業・林業ゾーンへ区割りをして管理推進していても良いのではないかと。	土地利用の詳細については、別途策定する土地利用計画で定めていくこととなり、総合計画では、その大元となる土地利用の基本的な考え方について、基本構想に位置付けていくこととなります。

## 第4章 重点プロジェクト

30	P15～18	第5次計画と比較するとかなり変化があるように見受けられる。第5次後期基本計画の28ページにあるように、分野別構想から抜粋する項目があるため、その全体像が見えてきた頃に議論した方が生産的かと思う。ただ、現在行っている検証に対する質疑の結果がまとまった後に課題が明らかになれば、並行して主要項目をあげておくことが必要かもしれないと考える。	ご指摘のとおり、今後、「分野別構想」や「基本計画（分野別計画）」に位置付ける事業を検討していく中で、特に重要と考えられる取組みを「重点プロジェクト」に位置付けていくこととします。
31	P15～18	構成とタイトルを次のようにしてはどうか。（下線が変更箇所） <b>■ 1 活気あふれるプロジェクト</b> 施策1 スマートIC周辺土地構想の実現	ご意見として賜り、今後、「重点プロジェクト」に位置付ける取組みが抽出された段階で、構成やタイトルを決定していく中での参考とさせていただきます。

	<p>施策2 効果的な土地利用</p> <p>施策3 <u>酒匂川の散策路の整備（丹沢湖～相模湾 新規）</u></p> <p>■2 <u>生活充実プロジェクト</u></p> <p>施策1 <u>山北オリジナルの磨き上げ</u></p> <p>施策2 <u>森林の有効活用の推進</u></p> <p>施策3 <u>山北産農産物の推進</u></p> <p>施策4 より一層の移住・定住対策</p> <p>■3 <u>安心くらしプロジェクト</u></p> <p>施策1 より一層の子育て支援</p> <p>施策2 誰一人取り残すことのない支援</p> <p>施策3 未来へつながる教育・保育の推進</p> <p>施策4 防災対策の充実</p> <p>■4 <u>便利くらしプロジェクト</u></p> <p>施策1 生活交通・移動手段の確保</p> <p>施策2 脱酸素社会の実現</p> <p>施策3 <u>デジタル技術の推進</u></p>	
P15	「やまきたチャレンジ」ではなく、「やまきたミッション」にすべき。ミッション化しないと推進力が出ない。	
P17～18	魅力向上プロジェクト（やまきた版 Well Being）とは、そもそも何をする事なのか、もう少し具体化したプロジェクトにする必要がある。例えば、元気創出プロジェクト（やまきたチャレンジ）の施策3にある「オンリーワンの磨き上げ」を（やまきた版 Well Being）のプロジェクトとして定義し、関係人口の創出を目指して、森林保全や活用、脱炭素を切り口にしたGX化、ふるさと納税・企業版ふるさと納税の強化、各観光拠点の整備、伝統・歴史の保存・活用、都心部の子供達の自然体験（子育て世代への認知・集客）等を位置付ければ、イメージしやすくなるを考える。	
P17～18	6の施策が掲げられているが、山北町の魅力とは何か。アピールする魅力をはっきりさせなければ、各施策を描けないのではないか。	



## 1 元気創出プロジェクト（やまきたチャレンジ）

No.	ページ	意見・質問	回答・対応（案）
32	—	最近唯一宴会が出来た店舗が廃業されたと聞く。パークゴルフ大会を開きたいが、終了後、全員で昼食をとりたいというグループがあったが残念なことに案内できなかった。良い施策があれば。	ご意見として承ります。

### 施策1 スマート IC 周辺土地利用構想の実現

33	P15	道の駅再整備の推進はどうか。	ご意見として承り、今後、「基本計画（分野別計画）」に位置付ける事業の中で検討いたします。
34	P15	スマート IC 新設による山北町への来訪者の推計はあるのか。それがなければ、受け入れ施設の整備などの事業が描けないのではないか。	ご意見として承ります。なお、平成 26 年に（仮称）山北スマート IC の連結許可時における令和 12 年の計画交通量は 1,300 台／日（乗車 600 台、降車 700 台）となっております。

### 施策2 効果的な土地利用

35	P15	新規就農者への支援体制は J A との連携も必要。又、北海道のある市では小学校に農業科を全国で 2 番に開設したとの情報もある。丸山の宿舎跡地に小学校生徒が農業に関わる仕事をできる場所をつくり、指導者を創出し食農教育の充実を図ることも良いのではないか。	ご意見として承り、今後、「基本計画（分野別計画）」に位置付ける事業の中で検討いたします。
36	P15	遊休農地・耕作放棄地の活用策を追加してはどうか。	
37	P15	都夫良野公共用地利活用の推進はどうか。	

### 施策3 オンリーワンの磨き上げ

38	P16	森林整備で重要となるのは木材を搬出する道の確保ではないか。良い木材も出すことが出来なければ意味がない。道路の整備が急務。	ご意見として承り、今後、「基本計画（分野別計画）」に位置付ける事業の中で検討いたします。
----	-----	--	--



**施策5** DXの推進

39	P16	DX（デジタル技術を活用した行政の変革）による市民のメリットが理解できない。まず「情報弱者」対策が必要。音声入力が進歩し、パソコンやスマホの操作が飛躍的に簡単になってきた。老連や社協とも連携して、中高齢者を対象とするスマホ講座等を開催し、情報弱者を取り残さない取組みが求められる。市内の高校生や大学生のボランティア講師を募集して、年数回・毎年実施してもらいたい。	ご意見として承り、今後、「基本計画（分野別計画）」に位置付ける事業の中で検討いたします。
----	-----	---	--

**2 魅力向上プロジェクト（やまきた版 Well Being）****施策1** より一層の子育て支援

40	P17	3世帯同居手当の新設も良い。核家族の傾向にある中、年輩者の力・声を活かしていくのも健康寿命を伸ばす手助けとなるのでは。	ご意見として承り、今後、「基本計画（分野別計画）」に位置付ける事業の中で検討いたします。
----	-----	---	--

**第5章 分野別構想**

41	P19	資料6の評価・検証結果についての意見欄に記入したもののなかから、該当する施策を振り分けてはどうか。	分野別構想とは事業を位置付けるのではなく、行政が行うすべての分野の取り組みについてその方針を示すものとなり、今後、「基本計画（分野別計画）」に位置付ける事業を決定していく中で整理いたします。
----	-----	---	---